別紙様式第25号の２（第238条第１項関係）（法人の場合）

（日本産業規格Ａ４）

事　業　報　告　書　（　　年度）

（　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで）

年　　月　　日提出

財務（支）局長　殿

郵　便　番　号　（　　―　　）

住　　所

電話番号（　　）　　―

商号又は名称

代表者又は管理人の氏名

１．事業概要

(1)保険代理店登録年月日

（生命保険：
損害保険：
少額短期保険：）

(2)代理申請会社（業者）名

（生命保険：
損害保険：
少額短期保険：）

(3)専業・兼業の別（兼業の場合は、主たる業種名）

(4)役員及び使用人の状況

役員			使用人	合計
常勤	非常勤	小計		
名	名	名	名	名

保険募集を行う者として登録又は届け出ている人数	役員	使用人			合計
		生命保険	損害保険	少額短期保険	
	名	名	名	名	名

(5)事務所の状況

名称	所在地	保険募集に従事する役員及び使用人	備考
主たる事務所		名	

計　　店		計　　名	

（記載上の注意）

事務所の状況を記載した適切な書面がある場合は、その書面をもってこれに代えることができる。

(6)　委託を受けている保険会社数の推移（直近３ヵ年度）

（単位：社）

	○ 年度	○ 年度	○ 年度
生　命　保　険			
損　害　保　険			
少額短期保険			
合　計			

(7)　比較・推奨販売の方法について、以下の(ア)、(イ)のうち適当なものを選択してください。

方法

（ア）　商品特性や保険料水準等の客観的な基準や理由等により、保険商品を絞り込んで、顧客に提示している。

（イ）　商品特性や保険料水準等の客観的な基準や理由等に基づくことなく、保険商品を絞り込んで、顧客に提示している。

（記載上の注意）

事務所や商品分野によって販売方法が異なるなど、一つの選択により難い場合には、実態に応じて複数選択し、必要に応じ、簡潔に補足すること。

２．取扱保険契約等の状況

(1)取扱保険商品数等

ア．生命保険

	取扱商品数	取扱保険会社名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

（記載上の注意）

1．取扱保険会社が15社以上ある場合は、行を追加して記載すること。

2．保険代理店における取扱商品数（いわゆるペットネーム単位）を記載すること。

3．取扱商品数が多い順に記載すること（取扱商品数が同数である場合は、契約件数が多いほうを上位に記載すること）。

イ．損害保険

	取扱 商品数	取扱保険会社名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

（記載上の注意）

1．取扱保険会社が15社以上ある場合は、行を追加して記載すること。

2．保険代理店における取扱商品数（いわゆるペットネーム単位）を記載すること。

3．取扱商品数が多い順に記載すること（取扱商品数が同数である場合は、契約件数が多いほうを上位に記載すること）。

ウ．少額短期保険

	取扱 商品数	取扱少額短期保険業者名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		

12		
13		
14		
15		

（記載上の注意）

１．取扱少額短期保険業者が15社以上ある場合は、行を追加して記載すること。

２．保険代理店における取扱商品数（いわゆるペットネーム単位）を記載すること。

３．取扱商品数が多い順に記載すること（取扱商品数が同数である場合は、契約件数が多いほうを上位に記載すること）。

(2) 取扱保険契約等の内訳（直近３ヵ年度）

ア．生命保険

区　分	保　険　種　類	生　命　保　険									備考
		○　年度			○　年度			○　年度			
		法人	個人	合計	法人	個人	合計	法人	個人	合計	
契約件数（件）	死亡保険										
	生死混合保険										
	生存保険										
	第三分野										
	年金										
	その他										
保険料(百万円)	死亡保険										
	生死混合保険										
	生存保険										
	第三分野										
	年金										
	その他										
募集手数料(百万円)	死亡保険										
	生死混合保険										
	生存保険										
	第三分野										
	年金										
	その他										

（記載上の注意）

１．特約については、主契約の保険種類にまとめて記載すること。

２．複数の保障が混合された商品等について、保険種類への分類が困難な場合は、その他に記載すること。また、その場合は、備考に概要を

簡潔に記載すること。

3．法人・個人の区分について、正確な把握・区分が困難な場合には、合計に全体値を記載し、備考に把握可能な範囲での法人・個人の割合を併記すること。

4．保険料にかかる記載は、実収保険料を記載すること。

5．募集手数料（報酬、その他の対価の額を含む。）は、保険会社から提供される手数料等支払明細書等に基づき記載すること。

イ．損害保険

区　分	保　険　種　類	損　害　保　険									備考
		○　年度			○　年度			○　年度			
		法人	個人	合計	法人	個人	合計	法人	個人	合計	
契約件数（件）	自動車保険										
	火災保険										
	傷害保険										
	（その他）新種										
保険料(百万円)	自動車保険										
	火災保険										
	傷害保険										
	（その他）新種										
募集手数料(百万円)	自動車保険										
	火災保険										
	傷害保険										
	（その他）新種										

(記載上の注意)

1．（その他）新種には、自賠責保険・海上保険（船舶・貨物）を除いた数値を記載すること。

2．法人・個人の区分について、正確な把握・区分が困難な場合には、合計に全体値を記載し、備考に把握可能な範囲での法人・個人の割合を併記すること。

3．保険料にかかる記載は、成績保険料を記載すること。

4．募集手数料（報酬、その他の対価の額を含む。）は、保険会社から提供される手数料等支払明細書等に基づき記載すること。

ウ．少額短期保険

区　分	保　険　種　類	少　額　短　期　保　険									備考
		○　年度			○　年度			○　年度			
		法人	個人	合計	法人	個人	合計	法人	個人	合計	
契約件数（件）	生命保険										
	損害保険										
	第三分野										
	その他										
保険料(百万円)	生命保険										
	損害保険										
	第三分野										
	その他										
募集手数料(百万円)	生命保険										
	損害保険										
	第三分野										
	その他										

（記載上の注意）

１．特約については、主契約の保険種類にまとめて記載すること。

２．複数の保障が混合された商品等について、保険種類への分類が困難な場合は、その他に記載すること。また、その場合は、備考に概要を簡潔に記載すること。

３．法人・個人の区分について、正確な把握・区分が困難な場合には、合計に全体値を記載し、備考に把握可能な範囲での法人・個人の割合を併記すること。

４．保険料にかかる記載は、収受した保険料を記載すること。

５．募集手数料（報酬、その他の対価の額を含む。）は、少額短期保険業者から提供される手数料等支払明細書等に基づき記載すること。

(3)　取扱保険商品の月別契約件数等の状況（直近年度）

ア．生命保険

取扱保険会社名													
保険商品名													
		○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月
契約件数（件）	新　契　約												

	保有契約												
	合計												
保険料(百万円)	新契約												
	保有契約												
	合計												
募集手数料(百万円)	新契約												
	保有契約												
	合計												
（備考）													

（記載上の注意）

1．取り扱っている保険会社の保険商品について、上記の明細を保険商品名ごとに作成すること。ただし、保険商品名ごとに正確な把握・区分が困難な場合には、当該取扱保険商品が属する「保険種類」を保険商品名の欄に記載のうえ、当該数値を　合計欄に記載すること。その場合には、正確な把握・区分が困難である理由を備考に簡潔に記載すること。

2．契約件数のうち、新契約については「月内の状況」、保有契約については「月末時点の状況」を記載すること。ただし、新契約・保有契約の正確な把握・区分が困難な場合には、それらを合算して合計欄に記載すること。

3．保険料にかかる記載は、実収保険料を記載すること。

4．募集手数料（報酬、その他の対価の額を含む。）は、保険会社から提供される手数料等支払明細書等に基づき、収受した月の手数料額を記載すること。

イ．損害保険

取扱保険会社名													
保険商品名													
		○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月
契約件数（件）	新契約												
	更改（更新）契約												
	合計												
保険料(百万円)	新契約												
	更改（更新）												

	契　　約												
	合　　計												
募集手数料(百万円)	新　契　約												
	更改（更新）契約												
	合　　計												
（備考）													

（記載上の注意）

１．取り扱っている保険会社の保険商品について、上記の明細を保険商品名ごとに作成すること。ただし、保険商品名ごとに正確な把握・区分が困難な場合には、当該取扱保険商品が属する「保険種類」を保険商品名の欄に記載のうえ、当該数を合計欄に記載すること。その場合には、正確な把握・区分が困難である理由を備考に簡潔に記載すること。

２．契約件数のうち、新契約については「月内の状況」、更改（更新）契約については「月末時点の状況」を記載すること。ただし、新契約・更改（更新）契約の正確な把握・区分が困難な場合には、それらを合算して合計欄に記載すること。

３．保険料にかかる記載は、成績保険料を記載すること。

４．募集手数料（報酬、その他の対価の額を含む。）は、保険会社から提供される手数料等支払明細書等に基づき、収受した月の手数料額を記載すること。

５．第３分野における保険期間が１年超の契約については、「ア．生命保険」に記載すること。

ウ．少額短期保険

取扱保険会社名												
保険商品名												
	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月	○　月

契約件数（件）	新　　契　　約													
	更改（更新）契約													
	合　　計													
保険料(百万円)	新　　契　　約													
	更改（更新）契約													
	合　　計													
募集手数料(百万円)	新　　契　　約													
	更改（更新）契約													
	合　　計													
（備考）														

（記載上の注意）

１．取り扱っている少額短期保険業者の保険商品について、上記の明細を保険商品名ごとに作成すること。ただし、保険商品名ごとに正確な把握・区分が困難な場合には、当該取扱保険商品が属する「保険種類」を保険商品名の欄に記載のうえ、当該数値を合計欄に記載すること。その場合には、正確な把握・区分が困難である理由を備考に簡潔に記載すること。

２．契約件数のうち、新契約については「月内の状況」、更改（更新）契約については「月末時点の状況」を記載すること。ただし、新契約・更改（更新）契約の正確な把握・区分が困難な場合には、それらを合算して合計欄に記載すること。

３．保険料にかかる記載は、収受した保険料を記載すること。

４．募集手数料（報酬、その他の対価の額を含む。）は、少額短期保険業者から提供される手数料等支払明細書等に基づき、収受した月の手数料額を記載すること。

３．保険募集人指導事業の実施状況等

(1)加盟店数の推移の状況（直近３ヵ年度）

（単位：店数）

○　年度	○　年度	○　年度

(2)フランチャイザーによるフランチャイジーに対する教育・管理・指導の状況

（記載上の注意）

保険募集指導方針等を記載した適切な書面がある場合は、その書面をもってこれに代えることができる。

４．保険募集にかかる苦情の発生件数（直近３ヵ年度）

（単位：件）

	○　年度	○　年度	○　年度
生命保険			
損害保険			
少額短期保険			

（記載上の注意）

１　上記１．から４．までにおいて、「記載上の注意」に沿った記載が困難な場合は、対応可能な記載方法を注記することで、その方法により記載することもできる。

２　法第277条第１項の登録申請書又は法第280条第１項の規定若しくは第215条第１項第１号の規定による届出書に旧氏を併せて記載して提出した者については、これらの書類に記載した当該旧氏及び名を変更する旨を届け出るまでの間、「代表者又は管理人の氏名」欄に当該旧氏及び名を括弧書で併せて記載し、又は当該旧氏及び名のみを記載することができる。